

2023年1月31日

各 位

会 社 名 株式会社N I T T A N
 代表者名 代表取締役社長 李 太 煥
 (コード番号 6493 東証スタンダード)
 問合せ先 経理部部長 梅 寄 篤 史
 (TEL. 0 4 6 3 - 8 2 - 1 3 1 1)

通期業績予想および期末配当予想の修正に関するお知らせ

2022年5月12日に公表致しました、2023年3月期通期連結業績予想および期末配当予想を下記のとおり修正致しましたので、お知らせ致します。

記

1. 2023年3月期 通期連結業績予想数値の修正

(2022年4月1日～2023年3月31日)

| | 売 上 高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|--------------------------|---------------|--------------|--------------|-------------------------|----------------|
| 前 回 発 表 予 想 (A) | 百万円 42,790 | 百万円 2,560 | 百万円 2,560 | 百万円 1,080 | 円 銭 37.48 |
| 今 回 発 表 予 想 (B) | 41,973 | 1,439 | 1,688 | 356 | 12.33 |
| 増 減 額 (B-A) | △817 | △1,121 | △872 | △724 | |
| 増 減 率 (%) | △1.9 | △43.8 | △34.1 | △67.0 | |
| (ご参考) 前期実績 (2022年3月期) | 38,669 | 1,963 | 2,106 | 644 | 22.39 |

2. 通期業績予想修正の理由

当社グループの2023年3月期の連結業績は、全世界的な半導体等の部品不足等に起因する自動車業界全体の生産調整の影響や、エネルギーや原材料価格の高騰の影響を継続して受けております。この影響は四輪事業が主体の日本及び北米で顕著で、日本では生産調整の影響による売上減少が想定以上に長引いており、固定費が利益を圧迫するとともに原材料価格や電力料も高止まりしています。北米子会社では、これに加えて労働力不足という社会的情勢を受けてのコストの上昇や生産性の悪化も生じております。また中国子会社でも、4月から6月にかけて新型コロナウイルス対策のロックダウンの影響を受けましたが、11月以降も新型コロナウイルス感染の再拡大により再び売上の減少が起きている状況です。これらの状況を踏まえて業績予想を見直した結果、2022年5月12日に公表した数値を上記の通り修正致します。

(注) 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる場合があります。

3. 期末配当予想について

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 前回発表予想 | — | 6.00 | — | 6.00 | 12.00 |
| 今回発表予想 | | | | 3.00 | 9.00 |
| 当期実績 | — | 6.00 | — | | |
| 前期実績 (2022年3月期) | — | 5.00 | — | 6.00 | 11.00 |

4. 期末配当予想修正の理由

当社は、長期的な展望に立ち企業体質の強化を図りながら、業績および配当性向を勘案しつつ、キャッシュ・フローの状況を見極めたうえで、可能なかぎりの配当を継続的に行うことを基本方針としております。

2023年3月期の期末配当金につきましては、1株当たり6円を予定しておりましたが、上記の通り2023年3月期の業績予想を踏まえ改めて精査をした結果、1株当たり3円に修正させていただきます。これにより年間配当金は、1株当たり9円と致します。

以 上